

令和5年度 青森県立自然ふれあいセンターの管理運営状況

県所管課	環境エネルギー部 自然保護課
指定管理者	青森県森林組合連合会 代表理事会長 須藤 廣明
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
県民の森利用指導事業	・広く県民に対して自然にふれあう機会を提供し、自然保護思想の普及を図るため、日曜観察会をはじめとする各種行事や自然をテーマとした研究会・写真展等を開催した。
情報発信事業	・広報誌、ホームページ等を活用し、センターの事業や県民の森に関する情報を発信した。
施設の維持・運営管理に関する業務	・センターを快適に利用してもらうため、センターの清掃や除雪、各種設備の保守管理等を実施した。
県民の森の維持管理に関する業務	・県民の森を安全・快適に利用してもらうため、登山道を始めとする施設の点検や整備、清掃等を実施した。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画(人)	実績(人)	計画対比	前年度対比
入館者数	R2	30,000	22,848	76.2%	61.4%
	R3	30,000	22,878	76.3%	100.1%
	R4	30,000	22,879	76.3%	100.0%
	R5	30,000	23,446	78.2%	102.5%
行事参加者数	R2	1,700	629	37.0%	23.9%
	R3	1,700	1,055	62.1%	167.7%
	R4	1,700	1,332	78.4%	126.3%
	R5	1,700	1,183	69.6%	88.8%
<p>【増減理由】</p> <p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い入館者数が回復傾向にある一方、行事参加者数については自主事業の参加者減が影響し、計画を下回った。</p>					

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	業務水準書で定める開館時間及び職員の配置を確保しているほか、来館者及び行事参加者を対象としてアンケート調査を実施しており、サービスの向上に努めている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	業務水準書に定める内容に加え、白神山地世界自然遺産登録30周年の機会を生かして周辺の公共施設等を活用した行事PRを行うなど、利用促進に努めている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	業務水準書で定める内容の維持管理を実施しており、利用者からの苦情はない。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	緊急時連絡体制が整備されており、年2回の消防訓練を適切に行っている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	適正に執行されている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	3	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で、可能な限り事業を実施している。 県民に対し自然体験活動の啓発を効果的に行っている。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	個人情報取扱特記事項及び各種労働法規を遵守しているほか、有給休暇についても各職員が取得できるよう配慮している。 行事参加者の体調チェックについても、個人情報として適正な取り扱いを行っている。
総合評価	3	3	①～⑦を総合的に勘案し、令和5年度の指定管理事業に係る総合評価を3とする。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する